



にちなん

第26号

平成27年8月1日発行

議会だより



主な内容

- ◆ 第2回臨時会の開催結果…………… 2ページ
 - ◆ 第3回定例会の開催結果…………… 5ページ
 - ◆ 特別委員会の活動について…………… 7ページ
 - ◆ 市政を問う、一般質問…………… 8ページ
 - ◆ 審議結果一覧…………… 14ページ
- 今号の表紙 ■ 平成27年4月26日の選挙で新たに選ばれた、日南市議会第3期議員22名です。

第2回臨時会(初議会)を開催

新しい正副議長、
常任委員会等を決定!

～議長に安竹 博氏、副議長に中尾 貞美氏を選出～

平成27年第2回臨時会は、平成27年5月19日に開催され、正副議長、各常任委員、議会選出役員等を次のとおり決定しました。

また、今臨時会において、報告6件、人事案件2件、議員提出議案1件の計9件を審議しました。(審議結果につきましては、14ページの「審議結果一覧」をご覧ください。)

なお、今期より議員数が22名となったことに伴い、これまで4つであった常任委員会は、3つの常任委員会となりました。

正副議長

議長



安竹 博

副議長



中尾 貞美

議長あいさつ

本市を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。その中で、日南市議会は今期より定数22名になりました。この機に議員一丸となつてこの難局を乗り越えていきたいと思つております。

そのためにも、是は是、非は非で執行者側とも大いに議論を闘わせながら、市議会は今後とも、市民の負託に応える努力をしてまいります。

また、市民に開かれた議会形成に向け、今後とも手を緩めることなく、皆様に確実に市議会の変化を感じてもらえるよう、議会改革を推進していく所存であります。

私をはじめ、すべての市議会議員はこの4年間、市民の皆様から託されました責務を不転の気持ちで必死に全うしてまいりますので、今後ともご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

日南市議会議長

安竹

博



第2回臨時会(初議会)のようす

総務文教委員会

総合戦略課、地域振興課、総務課、職員課、財務課、税務課、会計課、教育委員会、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び議会事務局の所管に属する事項を審査します。また、総合支所の所管に属する事項のうち、右記に準ずる所管に属する事項、他の常任委員会に属さない事項も審査します。

委員長



山田 一

副委員長



小玉 弘明

委員



岩永 憲明



濱中 武紀



福岡 浩一



和足 恭輔



安竹 博



田中 重信

市民厚生委員会

市民生活課、国保年金課、健康増進課、美化推進課、福祉課、長寿課、こども課及び中部病院の所管に属する事項を審査します。また、総合支所の所管に属する事項のうち、右記に準ずる所管に属する事項も審査します。

委員長



黒部 俊泰

副委員長



杉尾 麻起子

委員



北川 浩一郎



川越 昇



川口 和也



中尾 貞美



井福 秀子

産業建設委員会

農政課、農村整備課、水産林政課、商工政策課、観光・スポーツ課、建設課、建築住宅課、下水道課、水道課及び農業委員会の所管に属する事項を審査します。また、総合支所の所管に属する事項のうち、右記に準ずる所管に属する事項も審査します。

委員長



谷口 慎二

副委員長



郡司 誠秀

委員



林 一彦



山本 定則



前田 幸雄



倉岡 郁夫



井戸川 格

その他の選出委員等

議会選出監査委員

前田 幸雄

日南串間広域不燃物処理組合 議会議員

安竹 博、山田 一
黒部 俊泰、谷口 慎二
和足 恭輔、川口 和也
倉岡 郁夫

議会運営委員会

委員長 川越 昇
副委員長 和足 恭輔
委員 谷口 慎二、黒部 俊泰、山本 定則、田中 重信

議会だより編集委員会

委員長 林 一彦
副委員長 郡司 誠秀
委員 黒部 俊泰、倉岡 郁夫、和足 恭輔

報告案件

本臨時会で報告された主な案件を掲載いたします。

■専決処分の承認を求めることについて(日南市税条例の一部を改正する条例)
地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、条例を改正するものです。

【主な改正内容】

○ふるさと納税を行った場合の確定申告が不要となりました。
○原動機付自転車等に係る軽自動車税の税率引上げが1年延長(平成28年度からの実施)になりました。

■専決処分の承認を求めることについて(日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例)
地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、条例を改正するものです。

【主な改正内容】

○課税額の上限が引き上げられました。
・基礎課税額
51万円↓52万円
・後期高齢者支援金等課税額
16万円↓17万円
・介護納付金課税額
14万円↓16万円

○5割軽減、2割軽減の対象となる世帯の減額基準が緩和されました。

第3回定例会を開催

議会改革推進特別委員会 総合交通・産業活性化対策特別委員会

2つの特別委員会を設置!

平成27年第3回定例会は、平成27年6月11日から7月2日までの22日間開催し、平成27年度日南市一般会計補正予算(第1号)をはじめとする市長提出議案6件、報告5件、人事案件2件、請願1件、議員提出議案1件の計15件などを審議しました。(審議結果につきましては、14ページの「審議結果一覧」をご覧ください。)

また、本定例会において「議会改革推進特別委員会」及び「総合交通・産業活性化対策特別委員会」を設置し、それぞれの委員を選出しました。(詳細は、7ページをご覧ください。)

報告案件

本定例会において報告された主な案件を掲載いたします。

■日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について

■北郷町温泉協会の経営状況を説明する書類の提出について

日南市土地開発公社及び北郷町温泉協会の経営状況について、平成26年度の決算報告及び平成27年度の事業計画が地方自治法の規定により提出されたものです。

一般会計補正予算の概要

今回の一般会計補正予算の補正額は2億2800万円です。主に国県支出金等の決定に伴う経費を中心に、体育施設整備に要する経費やコミュニティ活性化促進事業などの経費があげられ、補正後の予算総額は263億3800万円となります。

《補正予算の主な事業》

◇コミュニティ活性化促進事業

(2500万円)

宿野自治会において、住民が主体的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連携及び住民自治の環境を整えるため、宝くじ助成金を財源としてワイヤレス放送設備の整備を補助するものです。

◇ふるさと応援寄附金事業

(5000万円)

御礼の品の充実、住民税の控除額の拡大、申請等に係る手続の利便性の向上により、ふるさと納税の件数が増加したことに伴い、経費を追加するものです。

【ふるさと納税の状況】

平成27年5月31日現在

○件数 2898件

○金額 5718万1500円

◇活動火山周辺地域防災営農対策事業

(6961万3千円)

活動火山周辺地域において、降灰による農作物被害を防ぎ、農業経営の安定化を図るため、2つの生産組合における被覆施設の整備に対して助成を行うものです。

◇種子島周辺漁業対策事業

(9936万2千円)

日南市漁業協同組合水揚荷捌き施設のポンプ改修工事、船員休養施設改修工事及び南郷漁業協同組合の「めいっ漁民センター」と「港の駅めいっ」における、浄化槽改修工事、外壁改修工事、屋外通路屋根設置工事に要する経費を助成するものです。

◇体育施設管理費

(4364万8千円)

天福公園屋内多目的球技場の照明増設工事及び体育施設の位置図、料金表、年間スケジュール等を掲載したパンフレットを作成するものです。

◇学校空調整備事業(小学校)

(6722万8千円)

学校の空調設備を年次的に整備するもので、平成27年度は吾田小学校の整備を行うものです。

その他の議案等

■議案第72号 日南市空き家等対策の推進に関する条例

〔原案可決〕

空家等対策の推進に関する法律が施行されたことに伴い、本市における空き家等に関する対策についての基本理念や審議会の設置等について、必要な事項を条例で定めるものです。

■諮問第1号及び諮問第2号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

〔原案同意〕

現在の人権擁護委員2名の任期が本年9月30日で満了することに伴い、現委員2名を引き続き推薦することに對し、意見を求められたものです。

○南壽 敏郎氏

○石崎 芳光氏

■日南市農業委員会委員の推薦について

農業委員会等に関する法律の規定により、市長から推薦依頼のあった農業委員会委員について、次の3名を推薦しました。

○大塚満里子氏(酒谷)

○平下 光代氏(倉迫)

○池田 陽子氏(贊波)

委員会審査より

《総務文教委員会》

■議案第68号 平成27年度日南市一般会計補正予算(第1号)

一 場外発売場運営事業

◇場外発売場の売上増加を図るため、利用者ニーズに対応する施設改修工事を行うもので、委員会審査においては、

○工事費用に市の負担は無いものの、施設売上が現時点で目標に達しておらず、今後の展望が見えない中においては無駄な投資に成りうる。

○今回投資を行っても、効果は期待できない。

○という反対討論や、

○オラレ日南の今後の在り方については、お客様のニーズを満たしたうえで判断すべき。

○という賛成討論も出され、審議を尽くしました。

《産業建設委員会》

■議案第70号 平成27年度日南市水道事業会計補正予算(第1号)

一 鶴戸地区配水池整備における建設予定地の発掘調査において、発掘する土量と検出される墓石等が当初の見込みを超えたことによる追加の調査費用を日南市一般会計へ繰り出すものです。

委員会審査では、鶴戸地区配水池整備に関し、発掘調査及び市道鶴戸参宮線の路面沈下による通行止め等、関連する対応が必要であることから、次の意見・要望を付しました。

○配水管整備事業を早期に完了し、地域住民に安心・安全な上水道を供給できるよう、発掘調査及び被災した近辺市道の早期復旧など、関係課と密に連携して事業を進められたい。

所管事務調査

《産業建設委員会》

6月の長雨による市道鶴戸参宮線路面沈下の現場確認及び、天福公園屋内多目的球技場照明増設工事の必要性を確認するための現地調査を行いました。

請願

■請願第1号 「集団的自衛権」に関する法整備に反対する意見書の提出を求める請願書

審査にあつた総務文教委員会では、これらの安全保障関連法案が現在も国会で審議中であることを鑑み、市議会においても引き続き慎重な審査が必要であるとの判断から、賛成多数により、「閉会中の継続審査」にすべきものと決しました。

本会議においては、「これらの安全保障法案は、国会審議が進むほど、憲法審査会において参考人の方3人すべてが集団的自衛権の行使は違法であると断じるなど、誰の目から見ても憲法9条に違反していることが明らかとなっている。」

また、国会の会期が9月27日まで大幅に延長されたが、このまま本市議会が継続審査とすれば、次の定例会採決時には既に国会が終了していることとなり、これは請願者に対してあまりにも不誠実な対応である。」

と、当該請願を継続審査とせず、今定例会で採択すべきとの討論がありました。

採決の結果、賛成多数で「閉会中の継続審査」となりました。



市道鶴戸参宮線現地調査の様子

議会改革推進 特別委員会



第1回議会改革推進特別委員会のようす

(委員長) 岩永 憲明
 (副委員長) 杉尾 麻起子
 (委員) 谷口 慎二
 黒部 俊泰
 和田 恭輔
 田中 重信

■設置の目的

本市議会の活性化を図るとともに、市民の信託に応える開かれた議会形成に向けて、市議会の活力を高め、かつ市民の皆さんに確実に市議会の変化を感じてもらえる議会改革をより一層推進することを目的に設置されました。

■今後の活動

去る、7月8日に第1回議会改革推進特別委員会を開催し、特別委員会における活動計画などを協議しました。

今年度は、現在試行的に取り組んでいる一般質問の在り方について、9月議会までの実績を検証したうえで本格実施に移行させるほか、より市民の皆さんにわかりやすい議会報告会の実施に向けて検討を行うこととしています。

これらをはじめ、今後も市民の皆さんにわかりやすい議会の在り方を検証し、実行に移していく予定です。

総合交通・産業活性化 対策特別委員会



第1回総合交通・産業活性化対策特別委員会のようす

(委員長) 福岡 浩一
 (副委員長) 濱中 武紀
 (委員) 山田 一
 川口 和也
 前田 幸雄
 井福 秀子

■設置の目的

東九州自動車道や国道220号などの主要道路網や油津港をはじめとする総合交通網の整備促進、また、これらのインフラを活かした産業振興・雇用創出に関する諸問題に対処することを目的に設置されました。

■今後の活動

去る、7月8日に第1回総合交通・産業活性化対策特別委員会を開催し、特別委員会における活動計画などを協議しました。

今年度は、昨年度まで設置されていた「日南市政総合推進対策特別委員会」で行ってきた、東九州自動車道の早期整備や国道220号の防災整備、油津港の耐震化整備など、本市におけるインフラ整備について、国県等の関係機関に引き続き要望活動を行うほか、これらのインフラ整備を本市の産業振興や雇用創出にどのようにつなげていくか、調査・研究していく予定です。

市政を 問う! 一般質問

平成27年第3回定例会における「市政に対する一般質問」は、6月22日から24日までの3日間行われ、10人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をたどしました。

質問の方法は「①一括方式(現行方式)」、「②一部壇上方式」、「③一問一答方式」より、議員が選択して実施しました。

- ① 一括方式とは … 議員が一括して壇上で質問し、市長が壇上で一括して答弁した後、再質問を質問席で行う方式です。(今までがこの方式です。)
- ② 一部壇上方式とは … 議員が質問の一部を壇上で質問し、市長が壇上で答弁した後、議員が質問席から一問一答でやり取りする方式です。
- ③ 一問一答方式とは … 議員が冒頭から質問席で市当局と一問一答でやり取りする方式です。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※ 質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会議会棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。詳しくは、日南市議会事務局(電話:0987-31-1142)までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- ① 中尾 貞美 議員(一部壇上) [林業遺産認定について、「読書の春」の推進について、森林機能の充実について、明治日本の産業革命遺産について、誘客等対策について、地域おこし協力隊について、小規模多機能居宅介護について]
- ② 倉岡 郁夫 議員(一部壇上) [市長の政治姿勢について、建設・土木行政について、選挙投票率向上策について]
- ③ 福岡 浩一 議員(一部壇上) [宮崎国体開催について、集团的自衛権について、防災対策について、プレミアム商品券について、木材産業について、北郷インター周辺整備について]
- ④ 山田 一 議員(一部壇上) [観光行政について、ふるさと納税について、人口減対策について、地域防災について、道路整備について]
- ⑤ 郡司 誠秀 議員(一部壇上) [廃プラリサイクル事業について、日南市雇用創出プロジェクト会議について、タブレットを使った教育について]
- ⑥ 川越 昇 議員(一部壇上) [市長の政治姿勢について、河川に関する施策について、地域活性化について、公園活用の子育て支援について]
- ⑦ 黒部 俊泰 議員(一括方式) [生活困窮者自立支援制度について、就学援助制度について、軽度・中等度聴覚障害児の補聴器購入費に関する助成金について、空き家対策について]
- ⑧ 井福 秀子 議員(一括方式) [市長の政治姿勢について、国民健康保険について、生活環境の整備について]
- ⑨ 和足 恭輔 議員(一部壇上) [教科書の選定・採択と歴史教育について、大樹会の事業計画について、空き家対策について]
- ⑩ 川口 和也 議員(一部壇上) [就学援助制度の拡充について、学校の環境整備員について、酒谷中学校の閉校について、市街地の里道の市道認定について、観光について、公園管理の個人委託について、農協のふれあい事業について、農業政策と専門職員の配置について]



改政クラブ
中尾 貞美 議員

林業遺産認定について

(問) 三ツ岩参考林が遺産認定になったが、林道の整備には取り組まれないのか。

(答) 普通乗用車等の通行には支障がない。今後も、通行の安全確保に努める。

(問) 川越本店所有林には看板等の設置はされているのか。

(答) 案内看板の設置については、今後、関係者等のご意見も参考にしながら調整していく。

「読書の春」推進について

(問) 南郷町では、「旅する読書」の挑戦者たちの成果が展示してあるが、その他の市内図書館の状況はどうか。

(答) 図書館司書が薦めるブックリストと、自由読書を併せて、挑戦者が50冊、100冊と目標を達成した場合に、各図書館にて、表彰及び展示を行ない、子どもたちの読書意欲の向上に努めている。

(問) 児童の読書増加に、どのように取り組まれているのか。

(答) 平成23年度に「日南市子ども読書活動推進計画」を策定して、

児童生徒の読書量増加に取り組んでいる。また、振徳教育の日では読み聞かせボランティアの方々に子供たちから感謝状を贈ったり、読み聞かせをしたりと、各プロジェクトごとに趣向を凝らして、読書活動の機運を高めている。

明治日本の産業革命遺産について

(問) 日南市の中では、遺産に匹敵するような施設はないのか。

(答) 既肥の各伝統的建造物の経過年数については、振徳堂は、天保2年建築で184年となるが、世界遺産については、ユネスコが定める世界的な登録基準を満たす必要があり、現時点では日南市内に、世界文化遺産に相当する物件は見当たらない。

誘客等対策について

(問) 鶴戸神宮では年間80万人も訪れ、外国人も多いと聞くが、洋式トイレはできないのか。

(答) クルーズ船の寄港時等トイレ利用状況も踏まえ、必要に応じ改善を図っていく。

(問) 既肥の町の活性化策として、若い人を地方に送り込む取り組みはどうか。

(答) 「まちなみ再生コーディネーター」を募集し、地元での取り組みを考慮し、まちづくりを進める。



改政クラブ
倉岡 郁夫 議員

市長の政治姿勢について

(問) テナントミックスサポートマネージャー、マーケティング専門官に続き、空き家対策として「まちなみ再生コーディネーター」を民間人委託制度として募集されているが、この委託制度が市民にどう思われているのかを検証されているのか。

(答) これまでに、定期的に市民の皆様向けの報告会を開催し、生のご意見を伺い、また、同時に行つたアンケート調査でも、おおむね取り組み概要等もご理解して頂いていると判断している。

(問) 観光客を誘引する目的で、油津港の突堤に建設を計画されていた観光拠点施設の進捗状況は。

(答) サビア周辺の環境も変化してきているため、現在、この観光拠点施設の果たすべき役割や機能はもちろんのこと、整備場所についても検討するなど、総合的かつ慎重な協議を重ねている。

(問) 旧北郷町の廃園・廃校となつた施設の跡地利用は、今後どうするのか。

(答) 中央保育所については、現在公売中であり7月6日に、入札を予定している。また、坂元保育所については、今年の2月から企業に貸し付けを行っているが、今後については、売却を視野に入れながら考えていく。それに、黒荷田小学校の校舎については、これまでの学校跡地と同様、地域と協議し、地域の意向に沿った利活用を進めていく。

選挙投票率向上策について

(問) 今回の市議会議員選挙の投票率は、65・85%から58・71%へと7・14ポイントも低下したが、今回の選挙と前回の選挙を比較するとポスター掲示場の数が大分減つた感じがした。どの様にして削減されたのか。

(答) 投票区内の有権者の人数、面積の広さ、幹線道路や集落の散在状況などを総合的に検討を行い、301箇所から203箇所に見直した。

(問) 選挙権が18歳になったら、またポスター掲示場の数も見直しをするのか。

(答) 局地的に有権者数が増加する地域においては、設置場所や数を含め、地域の実情に応じた何らかの対策を検討する。



自由民主党日南市議員
福岡 浩一 議員

2 巡目宮崎国体開催について

(問) 2巡目国体の開催を平成38年に予定すると、知事が今年2月25日に表明した。

昭和54年前回大会、日南市開催競技は、レスリング競技・ヨット競技・軟式野球競技の3種目が開催された。11年後の開催で遠い事ではあるが、ジュニア育成の観点から考えると早くはない。日南出身の選手を国体に出場させるにはジュニア時代から地元開催を認識させ、強化しなければ全国大会には対抗できないと考える。競技施設の面から考えても、現在ある施設の長寿命化を図り、次回大会に臨むべきと考える。市長の早期の競技指定と開催地立候補の考えはないか。

(答) 重点戦略プランのなかでも、スポーツ振興政策を示している。国体開催内定が5年前、開催決定が3年であり、施設整備に要する経費、ジュニア育成など、日南市体育協会を中心に、次回大会受け入れについては真摯に対応していく。

集団的自衛権法案等について

(問) 現在開催中の国会では、平和安全法案整備の審議中である。その中で、日南市も関係がない訳ではない。

油津港で毎年11月、神奈川県横須賀市に本部を置く、海上自衛隊掃海艇群が日向灘沖合で機雷等の掃海訓練を行い、艦の補給、隊員の休養のために油津港に寄港している。昨年の寄港時、艦艇23隻、隊員約1180名もの隊員が日南市民と交流の絆を深め、経済波及効果は多大なもので、今日をむかえている。

今法案成立後は、益々、防衛省への要望活動を綿密に行い、油津港の活用促進に努めるべきと考える。市長の平和法案についての考えを問う。

(答) 本案は、国際社会における、我が国の外交、防衛政策、エネルギー政策等に大変重要な案件として国会で審議中である。

その動向については、日南市にも関係があると認識しており注視しているが、審議中でもあり市長としての見解は慎みたいと考える。また、平和な日本、そして、ふるさとを後世に残すことが与えられた責務と考える。



自由民主党日南市議員
山田 一 議員

観光行政について

(問) 日南市の活性化には、クルーズ船の誘致は必要である。今年度の寄港予定は。

(答) 本年度は、国内船3隻、外国船が4隻となっている。また、この他に、寄港の打診が複数あるほか、MERSの関係により韓国への寄港を日本への寄港に振り替える動きがあり、油津港にも受け入れの打診がある。

(問) クルーズ船による日南観光の経済効果はどのくらいあるのか。

(答) 平成24年に7万トン級クルーズ船レジエンド・オブ・ザ・シーズが寄港したときは、お土産や昼食などで1回の寄港あたり1000万円程度の直接効果があった。

(問) クルーズ船観光客を迎えるに当たり「のぼり」や「ポスター」等を使って、歓迎ムードを盛り上げられないか。

(答) 港や鶴戸神宮などの観光地において横断幕などで歓迎することになっている。また、油津商店街でも歓迎用の装飾を検討している。

地域防災について

(問) 地域の安心・安全のためには、自主防災組織の充実が大切である。その充実を図るために防災訓練等に要した経費の一部補助はできないか。

(答) 地区の運営補助は考えていないが、今年度は、防災資機材の整備・充実に力を入れていく。

道路整備について

(問) 市道岩崎西町線の早期の整備は出来ないか。

(答) キャンプ時などには一時的に交通量が多く大変苦慮している。今後、交通渋滞対策として、離合場所の確保も含め、沿線住民の意向も確認しながら、交通規制の是非などについて検討していく。



今年度は油津港に多くのクルーズ船が寄港予定(写真は「クワンタム・オブ・ザ・シーズ」) [提供:ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社]



自由民主党日南市議員
郡司 誠秀 議員

廃プラスチックについて

(問) 廃プラスチックリサイクルは、今後どの様に進めていくのか。

(答) 旧清掃工場は予定通り解体するが、その跡地はストックヤードとして利用し、収集した廃プラは、経費性・効率性を考えて、民間施設に委託する。分別収集する品目、も廃プラスチック全般となる。

(問) リサイクルのアップ率と、周知方法や分別の指導はどうか。

(答) リサイクル率は、現在の18.1%から21%程度を想定している。周知や分別指導については、説明資料を作成し、自治会等での説明や、広報等を利用していく。小中学校でも、ごみ分別の特設時間を設ける。

日南市雇用創出プロジェクト会議について

(問) 事業の進捗状況はどうか。また、最近開発した、地域資源を生かした新商品は何か。

(答) プロジェクト会議による事業は、平成26年から取り組んでおり、雇用創出につながる取り組みで、現在まで34名の雇用も生んでいる。



チョウウザメを使った「南蛮揚げタルタルソース」のフィッシュドッグ

他にも、様々なマーケティングセミナーを開催している。新商品は、チョウウザメを使ったロイヤルフィッシュドッグや、体験型観光プログラムで「原木椎茸コマ打ち体験」なども開発し、6月3日に発表会も行なった。

タブレットを使った教育について

(問) 小中学校で、タブレットを使った教育をモデル的に導入して行う考えはないか。

(答) 本市は、平成23年、24年度で、全小中学校に、デジタル教科書を導入し、県内でも先進的に取り組み、教育効果を高めているところである。タブレット導入については、視察や研究は必要と考えている。



自由民主党日南市議員
川越 昇 議員

市長の政治姿勢について

(問) 均衡ある発展を進める中で、今後の北郷町並びに南郷町総合支所のあり方について、市長の考えはどうか。

(答) 総合支所は、地域課題の解決や振興策を、地域と行政とが連携し推進できる体制が最も必要である。今後は、地域協議会をはじめ、多くの市民の方々の意見をいただきながら、平成28年度末を目的に方針を固めたい。

(問) 職員の人材育成をどうやっていくのか。

(答) 全ての職員が、市職員の責務として自己啓発に努めるよう指導徹底していくと共に、職場内研修や派遣研修、外部講師を招聘しての意識改革研修などの機会を通じて人材育成に努める。

河川に関する施策について

(問) 台風や局地的豪雨に対する河川の防災対策は十分か。

(答) 本市の対策は、地元消防団や県と連携して河川の水門等を管理しながら、河川の氾濫や浸水対策に備えている。今後も関係機関と

の連携を図るとともに、平日頃からの防災意識を高めるなど万全を期す。

地域活性化について

(問) 東九州自動車道の日南インターチェンジ周辺の土地利用について、各団体からの意見・要望は出していないのか。

(答) 現在、地元住民や各種団体などからの意見・要望等はない。

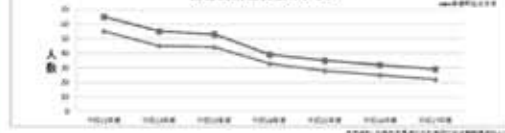
(問) 自然共生型公園の環境づくりについて、市長の考えはどうか。

(答) 自然共生型公園は、訪れる人々に対しても、心と身体の癒しと健康づくりの観点からも有効に働くものと考えており、維持していかなければならない環境である。

日南市職員の定員管理実績表

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減
日南市職員	699	695	681	674	660	641	624	△75
内 北郷町総合支所	55	45	44	33	28	25	22	△33
内 南郷町総合支所	65	55	53	39	35	32	29	△36

総合支所職員数のグラフ



今後の総合支所のあり方について、再質問で使用したパネルです。



公明党日南市議員
黒部 俊泰 議員

生活困窮者自立支援制度について

(問) 本制度は、生活する上で、様々な困難を抱える人を、幅広く受け入れ、寄り添い、伴走しながら相談・支援する取り組みである。社会福祉協議会の相談窓口は、関係部署や関係機関と連携を強化し、早期発見・早期支援の体制構築が重要である。取り組み状況はどうか。

(答) 困窮者の早期発見に結びつけるため、昨年11月と本年5月の2回、関係課への説明会を実施し、支援に対する全庁的な協力体制の構築と、各部署で生活困窮者であると判断した場合の、サポートセンターへの情報提供の徹底を図った。これまでに、情報提供が17件あり、相談・支援につなげてきた。就労に関する相談も多いため、ハローワークとも連携を図りながら就労支援を行っている。

(問) 相談受付後のサービスである、就労準備事業と家計相談事業の任意事業を実施する考えはあるのか。

(答) 現在実施している自立相談支援事業も、就労に関する相談や取

入生活費に関する相談を受け付けており、ある程度フォローできる。ニーズを把握し、検討する。

空き家対策について

(問) 空き家の解消に向けた「空き家等対策推進特別措置法」が、5月に全面施行された。空き家等対策計画の取り組み状況はどうか。

(答) 現在、計画策定に向け基礎調査や情報収集を行っている。今年9月をめどに、庁内の対策会議で素案をまとめた後、空き家等対策協議会の審査を経て決定したいと考えている。なお、空き家の活用も計画策定の中で検討する。

(問) 国交省が「個人住宅の賃貸活用ガイドブック」で紹介している、借主負担DIY型・Cタイプの契約についてはどうか。

(答) 借主が使い勝手の良いようにリフォームでき、退去時の原状回復もDIY実施個所は免除される契約である。借主は費用負担するが、家賃を安く抑えられる。家主は長期間入居してもらえると、財産価値が上がるなど、双方にメリットがあるといわれている。中古住宅の流通促進が、空き家の減少に繋がるので、新しい賃貸借のタイプとして所有者や事業者を紹介していく。



日本共産党日南市議員
井福 秀子 議員

市長の政治姿勢について

(問) 安倍政権は、日本を海外で競争する国につくりかえる安保法案「戦争法案」を強行成立させようとしている。戦争か平和か、日本の命運を左右する歴史的な法案である。市長は、この法案は憲法違反であると思うか。

(答) 本案は、国会で審議中の案件であるので、私の見解は控える。

(問) 過去の日本の戦争を市長は侵略戦争と思うか。

(答) 侵略戦争であるかどうかは、その時の社会、国際情勢で、国際法の考え方は変わると考える。第二次世界大戦では侵略戦争であるかどうかは、判断し兼ねる。

国民健康保険について

(問) 本年度の国保税は、税率据置きになったが、税率据置きの理由は何か。

(答) 国保をとりまく状況の変化や国保運営協議会の答申を踏まえ、税率を昨年と同額に据置いた。

(問) 増大する医療費を抑制するため、全庁挙げての疾病予防対策は図られているのか。

(答) 新事業として、健康づくりに積極的に取り組んでいる自治会や団体に表彰制度の創設や運動・減塩・禁煙の3運動を啓発する。

(問) 高すぎる国保税のため納められない滞納者や保険証のない人、差し押さえられた件数はいくらか。

(答) 滞納者数は1702人、保険証のない世帯は250世帯で303人、市民税、国保税を含む差押え件数は1002件である。

(問) 国保加入世帯の所得状況と課税総所得額は毎年減少しているが、いくらになつていくか。

(答) 所得ゼロから200万円までの世帯が全体の88・5%である。課税所得は60億6070万円、昨年度より4・5%減少している。

生活環境の整備について

(問) 下水道や公設合併処理浄化槽事業とリフォーム補助事業を組み合わせ、事業を促進できないか。

(答) 個人負担の軽減を図るため、水洗便所改造資金の融資あつせん及び利子補給の制度を設けている。この制度の活用を啓発に努める。

(問) 下水道に未設置数はいくらか。

(答) 2659世帯で接続率は75・7%である。

(問) 申請書類の簡素化は。

(答) 可能な限り、検討する。



日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員

教科書の選定・採択について

(問) 次期教科書が教育委員会によって、8月までに採択されるが、その手順はどうなるか。

(答) 県教委が設定した南那珂採択地区で串間市と採択協議会を設け、県教委が設置する教科用図書選定委員会の調査・研究の結果を参考資料として、独自に調査・研究を行い、それを基に、協議会で選定することになる。県教委は毎年6月から7月の一定期間に教科書展示会を行うことになっており、今年度は、まなびピアで6月19日から7月2日までとなっている。

(問) 日本の過去の侵略戦争を自衛の戦争と記述する検定教科書を「選ぶべきでない」との多数の声があるが教育長の所見はどうか。

(答) 様々な意見は承知しているが、検定教科書の採択については、法律に定められた手順により行われるので、その過程を尊重したい。

大樹会の事業計画について

(問) 地域住民と大樹会の協定に基づき、住民の理解が得られるような事業運営を指導していくとのこ

とだったが、住民の不安、疑問は払しょくされているのか。

(答) ソーラーシェアリング事業について、3月と5月に地元、上中村地区と大樹会、市の三者で協議を行い、大樹会から景観に配慮した計画の一部変更が提案された。地元では現在、その対応について協議中である。

(問) その対応を協議している最中に、6月に大樹会から、「最大の譲歩をした」「これ以上、当事者同士が話し合っても堂々巡りになる」として、今後の対応は顧問弁護士に任せるとの頼末書と、顧問弁護士からの委任書が上中村自治会に届いた。協定違反ではないか。協定書の立会人として市は早急に指導すべきだ。

(答) 適切な形で話し合いをもって、適切な解決が図れるようにする。

空き家対策について

(問) 空き家の適正管理をサポートする事業を地元業者や自治会と連携し立ち上げてみてはどうか。

(答) 管理サポート事業は今後需要が高まると予想されている。所有者と管理する側とのルールと信頼関係が必要になるが、今後、自治会の意見も伺い、先進的取組も紹介し、研究していきたい。



社民クラブ
川口 和也 議員

就学援助制度の拡充について

(問) 就学援助対象者の所得基準額は、生活保護基準額の1.1倍としているが、拡充はできないか。

(答) 本市の認定基準額は、平成22年度より採用しており、増加した低所得者世帯への対応及び県内他市の認定率を比較し、慎重に算定したもので、認定基準の倍率を上げる考えはない。

(問) 県内各市の基準額ほどのようになっているのか。

(答) 日向市が1.2倍としているが、他市は日南市と同様か、それ以下になっている。

(問) 日南市の就学援助補助対象になっていない「部活動費、生徒会費、PTA会費」を、都農町や日之影町では一部を対象としているが、日南市も追加拡充できないか。

(答) 就学援助補助対象になっていない3項目は、昨年12月議会以降、課内での協議及び県内他市の状況を研究してきたが、県内他市も対象としていないので、追加拡充は考えていない。

酒谷中学校の閉校について

(問) 酒谷中学校は今年度をもって閉校し、来年度からは飯肥中学校に統合されるが、閉校までの行程と跡地・校舎の利活用、学校林の取扱いなどの道筋をどのように考えているのか。

(答) 6月16日に、酒谷地区自治会長をはじめ、酒谷中学校閉校に係る代表と今後の行程などの事前協議を行い、閉校記念式典までに役員会及び実行委員会を随時開催することを決定した。

跡地の利活用は閉校準備に併せ、跡地活用検討委員会を設置し、地域の意向が十分に反映されるよう取り組んでいく。

酒谷中学校の学校林は、平成28年度に伐採が予定されている。学校林は、地域の子ども達のために育てられた財産なので、学校林の処分方法も、地域と協議しながら検討していく。



審議結果一覧

※平成27年第2回臨時会及び
第3回定例会の審議結果を掲載しております。



【第2回臨時会】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
報告第1号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第2号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて	—	原案承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて	—	原案承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて	—	原案承認
報告第6号	専決処分の報告について	—	終 了
議案第66号	日南市固定資産評価員の選任について	—	原案同意
議案第67号	日南市監査委員の選任について	—	原案同意
議員提出議案第1号	日南市議会委員会条例の一部を改正する条例	—	原案可決

【第3回定例会】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
報告第7号	日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	—	終 了
報告第8号	北郷町温泉協会の経営状況を説明する書類の提出について	—	終 了
報告第9号	平成26年度日南市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	終 了
報告第10号	平成26年度日南市簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	終 了
報告第11号	平成26年度日南市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	終 了
議案第68号	平成27年度日南市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第69号	平成27年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第70号	平成27年度日南市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第71号	日南市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	原案可決
議案第72号	日南市空き家等対策の推進に関する条例	原案可決	原案可決
議案第73号	財産の取得について	原案可決	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
議員提出議案第2号	日南市議会会議規則の一部を改正する規則	—	原案可決
請願第1号	「集团的自衛権」に関わる法整備に反対する意見書の提出を求める請願書	継続審査	継続審査

採決結果一覧

賛否の別れた議案等における、議員ごとの賛否結果は以下のとおりです。
 なお、表中の記号は次のとおりです。(○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長)

議案番号	議案名	審査結果	杉尾	北川	郡司	谷口	小玉	川越	黒部	林一	山田	山本	川口	前田	岩永	濱中	福岡	倉岡	和足	安竹	中尾	井福	田中	井戸	採決結果	
議案第68号	平成27年度日南市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	×	欠	原案可決
請願第1号	「集团的自衛権」に関わる法整備に反対する意見書の提出を求める請願書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	×	議	○	×	○	欠	継続審査	

注1) 議長は採決には加わりません。

注2) 議案の賛否は原案についての表決ですが、請願の賛否は委員会審査結果についての表決です。

是非、議会を傍聴してみてください!

4月の改選により、22名の議員での新たな日南市議会がスタートしました。
 新人議員も3名加わり、今後も活発な議論が期待できます。是非、傍聴にお越しください。

■ 平成27年第4回(9月)定例会 開催予定 ■

- 9月14日 開会、本会議
- 15日 本会議
- 25日 本会議(一般質問)
- 28日 本会議(一般質問)
- 29日 本会議(一般質問)
- 30日 本会議(一般質問)
- 10月1日 委員会審査
- 2日 委員会審査
- 5日 委員会審査
- 6日 本会議(採決)、決算審査特別委員会
- 7日 決算審査特別委員会審査
- 8日 決算審査特別委員会審査
- 9日 決算審査特別委員会審査
- 13日 決算審査特別委員会審査
- 14日 本会議(決算採決)、閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更となる場合があります。



★インターネットでも議会がご覧いただけます!

本会議のようすは、下記のURLより生中継・録画放映でご覧いただけます。
 (スマートフォン・タブレット端末には対応しておりませんので、ご了承ください。)
<http://www.nichinan-city.stream.jfit.co.jp/>

議会日誌

(4月から7月上旬・抜粋)

【4月】

- 23日 広島県廿日市市議会が行政視察のため来訪
- 24日 愛知県刈谷市議会が行政視察のため来訪
- 26日 市議会議員選挙
- 28日 議会事務連絡会、全員協議会

【5月】

- 13日 会派代表者会議
- 19日 第2回臨時会(初議会)、全員協議会、会派代表者会議
- 20日 議会推薦農業委員選定委員会
- 21日 東九州自動車道 鹿児島・宮崎期成会総会(鹿屋市)
- 22日 海上自衛隊呉地方総監部及び広島東洋カープオーナー表敬訪問(23日まで 広島県)
- 25日 宮崎県市議会議長会定期総会(26日まで 日向市)
- 27日 議会推薦農業委員選定委員会

【6月】

- 1日 議会推薦農業委員選定委員会、全国自治体病院経営都市議会協議会理事会・総会(東京都)
- 2日 東九州自動車道整備要望(福岡市)
- 3日 議会推薦農業委員選定委員会、九州市議会議長会定期総会(5日まで 長崎市)
- 4日 議会運営委員会、新人議員研修会
- 7日 近畿北郷会第30回記念総会(大阪市)、東海地区ふるさと日南会総会(犬山市)
- 11日 第3回定例会 開会、全員協議会、議会だより編集委員会
- 12日 本会議(質疑)、予算審査特別委員会全体会議
- 16日 全国温泉所在都市議会議長協議会・総会(東京都)
- 17日 全国市議会議長会総会、宮崎県市議会議長会臨時総会(東京会議)、県選出国議員への要望活動(18日まで 東京都)
- 22日 本会議(一般質問 24日まで)、議会運営委員会
- 25日 委員会審査

【7月】

- 1日 議会だより編集委員会
- 2日 全員協議会、予算審査特別委員会全体会議、予算審査特別委員会分科会長会、本会議(採決)、委員会審査、第3回定例会 閉会
- 5日 在京北郷会総会(東京都)
- 7日 秋田県湯沢市議会が行政視察のため来訪
- 8日 議会改革推進特別委員会、総合交通・産業活性化対策特別委員会、会派代表者会議
- 9日 山形県天童市議会が行政視察のため来訪

トピックス

日南市在宅医療・介護連携推進シンポジウムが行われました

去る7月11日、ふれあい健やかセンター5階会議室において、「日南市在宅医療・介護連携推進シンポジウム」が多くの関係者が参加されるなか開催され、市民厚生常任委員はじめとする市議会議員も参加いたしました。

基調講演では、横須賀市の在宅医療・介護連携の取り組みを、横須賀市地域医療推進課長補佐の川名氏と静明館診療所の友大医師からご紹介いただき、また、「日南市における在宅医療・介護連携の取り組みとこれから」をテーマにパネルディスカッションが行われ、関係団体による活動報告などが発表されました。

住み慣れた地域で自分らしく過ごすためのこれら取り組みに、市議会も積極的に力を注いで参ります。



在宅医療・介護連携推進シンポジウムのようす

■ご意見をお待ちしております■

議会だよりに関するご意見・ご要望等がありましたら、下記までご連絡ください。

【日南市議会事務局】

TEL : 0987-31-1142 FAX : 0987-31-1778

E-mail : gikai@city-nichinan.jp



編集後記

4月の統一地方選挙により、議員定数が22名となる市議会がスタートしました。常任委員会は4委員会から、総務文教、市民厚生、産業建設の3委員会の構成になりましたが、審議に影響はなかったようです。また、前回同様に議会改革など二つの特別委員会も設置されました。

先の4年間で議会改革特別委員会を中心に、議会基本条例を制定しました。私たち議員は、この条例制定後、議会報告会を市内9地区で開催、市議会での一般質問の形式を一括質問から、新たに一問一答方式等を加えるなど改革を進めてきましたが、今後もさらに、改革をすすめていきます。

さて、今回の議会だよりから、これまで、賛否の別れた議案等を会派ごとに掲載していましたが、これを議員ごとに賛否結果として個別表決結果表の掲載をすることにしました。

議会だより編集委員会では、議会の情報をより詳しく、また、市民の皆さまにわかりやすくするなど、親しまれる編集に努力してまいります。

(記) 林 一彦

【議会だより編集委員会】

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 林 一彦 |
| 副委員長 | 郡 司 誠 |
| 委員 | 黒部 俊 泰 |
| | 倉岡 郁 夫 |
| | 和足 恭 輔 |